

大野北公民館

利用協通信

第10号 平成23年9月20日

大野北公民館利用サークル協議会 発行

相模原市中央区鹿沼台 1-10-20

大野北公民館内 電話 042-755-6601

おくろう元気を！大野北 —大震災チャリティー交流会

○7月2日（土） つながる元気交流会

- つながる元気inキッズ広場 ～届けよう・私達の思い～
- サークル公開と交流

健康体操、フォークダンス、琉球空手、エイサーの披露、交流

- つなごう・みんなの交流会 ゲーム、歌、懇談など、
- チャリティー販売コーナー ミサンガ、シュシュなど販売

○7月3日（日）相模原に大地震がきたら！

- 大船渡市での救援体験談（大野北公民館職員）
- 大地震にどう備える？（小林茂信さん）
- 相模原市の地震対策などを聞く（市危機管理室職員）
- 座談 3.11 に体験したこと、感じたことなどの話し合い

■ 防災グッズ・震災報道記事などの展示 ■ 非常食の試食

まつり中止からチャリティーへ

利用協会長 安達和夫

東日本大震災が発生した直後の公民館まつり実行委員会、言語を絶する惨禍の中で、実施できる状況ではないとの意見が多くあり、公民館まつりは中止としました。しかし部屋も確保されているので、希望のサークルには活動の場として利用してもらおうことになりました。

その結果、10以上のサークル、団体がイベントを企画し、大震災に関連した学習、元気を与えるサークル活動の公開とコラボ、そしてチャリティー事業を通して義援金を募ることなど、自然と大震災とその支援に関わるテーマに皆

さんの気持ちが向いて行き、「チャリティー交流会」というひとつのイベントになりました。

そのうち、利用協で開催したサークル交流会は、被災者への思いを込め、また私達自身も元気になって、この困難を乗り越えよう、そんな気持ちのものでした。今回は、いつもより多様な顔ぶれで、子供たちも参加した新鮮な交流会となりました。

またこのイベントを通して、合計で6万円余の義援金等を集めることが出来、私達の思いを形にして、被災地（大船渡市、陸前高田市）に届けることができ、やって良かったと思いま



お姉さんと一緒に ミサンガ作り



市職員から“相模原市の地震対策”



義援金に感謝です

サークル公開交流に参加

高齢者いきいき健康体操 西畑輝子

7月2日午後1時より大会議室にて、今回の災害でお亡くなりになられた方々のご冥福を祈り、全員で黙祷を捧げた後、高齢者いきいき体操、フォークダンス、琉球空手、エイサーの順に日頃の活動を発表し、全員参加で賑やかに始まる。

高齢者体操では大きな輪になり「青い山脈」を全員で手をつなぎ、



黄色のシャツで明るく いきいき体操

軽やかな足取りで快適なリズムに乗り楽しく踊る。フォークダンスはおしゃれな可愛い衣装に身を包み、本場のスクエアダンスを披露、縦列・横列の見事な変形や、交差、パトナーチェンジに感心する。やさしいフォークダンスに全員参加させて頂き心地よい汗をかく。

琉球空手は元気な男女の子供達、

乙女、主婦、イケメン男性の方々と、礼儀正しい挨拶に始まり、キレのいい手さばき、動き、板割、護身術も掛け声と共に見せて頂き、私達の手にも力が入る。一般参加もさせて頂



「エイ！」と勇ましく 琉球空手の演技

き、楽しい時間を過ごす。護身術を習っておけば役立つかも？と思う。

桜美林大生の、エイサーは沖縄独特の衣装にターバン？を身につけ、

蛇三線の弾き語りの男性、中太鼓を肩から掛け皆のリーダーとなる男性、小太鼓をやはり肩に掛けた女性3名、後ろに踊り手の女性4名で構成され、沖縄特有の唄と三味線に合わせたダイナミックな振りや踊りに合わせた太鼓の力強い音。沖縄の踊りと、口笛とが息ピッタリに表現され、私達の

目も心もとりこにされ、若さと力強いパワーを全身に感じる。皆さん沖縄の人と思いきや2名と聞き驚く。一所懸命やればここまで上手になれ



島田職員 被災地の状況をスライドで説明

るのだと自分に言い聞かせる。

日頃公民館を利用して頂いて居る各サークルが勉強練習を重ね、その成果をこうして交流する事でお互いを理解し、人の輪が一段と大きく広がり、とても有意義な一日でした。有難う御座いました。

チャリティー交流会に参加して

カロチャ 南雲久美子

東日本大震災は日本に未曾有の大被害をもたらし、今尚多大な問題が続いている。恒例の公民館まつりもそれに配慮して中止になったが、「おくるう、元気を」大震災チャリテイ

交流会が、2日、3日に催された。

被災地の大船渡で、支援活動に従事してこられた公民館の島田欣一さんが、被災地の悲惨な状況をスライドを映しながら話して下さった。会場には義援金箱が設置され、公民館で活動しているメンバーが熱心に聞き入っていた。その後、利用協役員手作りのオードブルなど頂きながら、参加した学生さん、子供達と歌やビンゴを楽しんだ。

関東でも起きると伝えられている地震に、地域で支え合い、備えが必要なることを学んだ交流会だった。

交流会の感想

桜風エイサー琉球風車 五月女茜

このイベントに参加させていただけたことを嬉しく思います。イベントを通して、普段関わることの少ない他団体のみなさんと交流することができました。それと同時に、人と人との繋がりが、地域の繋がりの大切さを改めて感じました。

初対面の方々と円になって踊ったり、子供たちのパフォーマンスに拍手を送ったりする中で、人の温かさを感じる事ができました。こうした繋がりがこそが、いざという時に大きな力になるのだと思います。

震災の影響で辛いニュースが多い今、みんなが笑顔でいられる場があ

ること、メンバーと楽しく活動できることに感謝したいです。これからも地域との繋がりを大切にしながら活動を続けていきたいと思えます。

楽しい意義ある交流会

サークル輪 八木一葉

交流会に参加したのは、今回で2回目です。1回目は随分前で、あまり楽しかったという記憶はなく、それで今まで参加しなかったのだと思います。今回は、子供たちや桜美林の大学生も加わり、年齢層が幅広く、そのテーブルごとに楽しくおしゃべりできたと思います。

それに、あつてはいけないのですが大地震。その被災地で救済活動にたずさわった公民館職員島田さんの講演は、津波の傷跡が生々しく心に刻みこまれる悲惨な現実、対岸の火事ではいられなくなつた我々の胸に痛烈な印象を与えたと思えます。

いつか来るであろう大地震に、地域ぐるみで頑張らなくては……。サークル同士の交流の枠を越え、皆で心をひとつにして、地域全体の安心と

安全のためにかたい絆が生まれたと思いたいです。

ビンゴゲームも盛り上がり、楽しい意義ある交流会でした。



子供たちも参加 賑やかな交流会



綿菓子をなめながら 大満足です

公民館職員の紹介

館長 座間千代子

大野北公民館の館長と云う大役を頂いて2年が経過しました。地域の皆様のご支援のおかげで毎日忙しい日々を送らせて頂いております。

3月11日発生の東日本大震災は、とても大きな出来事でした。公民館まつりは中止となりましたが、被災地に想いをむけて絆と云うテーマで学習会が開催されました。自分が震災の場面におかれた時にどう対応すべきか。また、大船渡市の被災状況のスライドも見ることもできた良い学習会だったと思います。桜美林の大学生による心を込めたミサンガ作りや「元氣を出して頑張つて」と寄せ書きも作成され、皆様の気持ちを携えて現地大船渡小学校へ、義援金は大船渡市へ送付されました。公民館の役割は、人と人をつなぐ場、コミュニケーション作りの場と考えております。少しでも地域の皆様に愛される公民館でありたいと職員、推進員、スタッフ一所懸命頑張っております。どうぞよろしくお願いたします。

館長代理 島田欣一

利用サークル協議会の皆さまには、公民館事業をはじめ、運営等につきましても、ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。



皆さまとともにこの大野北公民館を市内で一番元気で楽しい公民館にしたいと考えております。ご協力をお願いいたします。

峯岸直人

活動推進員の峯岸です。主に学習・文化事業を担当しています。



大野北地区の皆さまと一緒に学び合い、文化の花を咲かせていきたいと思えます。よろしくお願いたします

徳永玲子

地域の皆さまこんにちは。星が丘公民館から異動してまいりました。主に青少年事業を担当します。子どもたちからパワーを貰いながら、明るく笑顔で皆さまと接していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



今年から初めて活動推進員として公民館に関わることになりました。主に体育事業を担当します。皆様のお力を借りながら、力いっぱい頑張つていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

脇崎幸江



(似顔絵は脇崎さんが描かれました)